

【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

今議会に、保育園施設整備委託料が計上されました。この保育園施設整備委託料は、直接ではないにしても公立の長船東保育園をつぶすための予算です。

前回の私の一般質問に、市長は『長船東保育園は、老朽化とともに廃止をしていく』と答弁しました。

今回、担当課長は『長船東保育園は、民間子ども園を誘致した後、状況を見て閉園の方向にもっていく』と答弁しました。

市は、長船東保育園の閉園は、既定路線だ！ということです。

私は、地元議員として、公立の東保育園をなくすことは絶対に反対です。長船町公民館跡地に整備されるのは、老朽化の激しい長船東保育園と国府幼稚園を統合させた公立のこども園であるべきです。

公立と私立では、社会に求められる役目が違います。利便性の高い私立の保育園と、支援の必要な子どもたちにも手厚い支援が出来る公立の保育園のどちらもが必要です。現在長船は公立 2 園、私立 2 園とゴールデンバランスです。保護者によって状況や価値観が色々ある中で、選択肢を提供でき、保護者がその中で公立か私立を選択できる。それが市に求められる責務ではないでしょうか。

私は、今回も修正案を提出してこの予算に反対しました。

◆反対理由◆

❶私はかねてからずっと訴えていますが、瀬戸内市の幼稚園・保育園を含めたこども・子育て支援の全体計画をまず示すべきです。

❷長船町公民館跡地の全体計画をまず示すべきです。

地元からは、この場所になんらかの福里地域の住民の防災の機能を有することが求められていますし、市長も防災の役目を担うことができる何らかの施設を考えていると発言されています。ならば、一部分を使った民間保育園ではなく、まず長船町公民館跡地の全体計画を示すべきです。

❸長船町公民館跡地に整備されるのは、老朽化の激しい長船東保育園と国府幼稚園を統合させた公立のこども園であるべきです。

公立と私立では、社会に求められる役目が違います。

利便性の高い私立の保育園と、支援の必要な子どもたちにも手厚い支援が出来る公立の保育園のどちらもが必要です。

結果は下の賛否をご覧ください。

なんと、同数で最後に議長采配で負けました ㊦

半数近い議員が私の主張を理解して協力してくれたことが、本当に嬉しいです。でも、肝心の長船の議員は、私と八日市の竹原さんだけで、残りの議員は全員長船東保育園をなくすことに賛成だったのが、残念で仕方ありません。

今回の結果が、簡単に長船東保育園を無くすことは難しいという、ほんの少しでも歯止めになってくれたらと、願うばかりです。

令和6年第3回（6月）定例会 賛否の公表 ○＝賛成 ●＝反対 退＝退席 欠＝欠席

議 案 名		議決 年月日	採決結果	かなえの会			日本共産党 瀬戸内市議団		公明党 瀬戸内市議 団		創流クラブ		瀬戸内市民の会				新風					賛 成	反 対	
				秦 井 誠 司	成 本 崇	嵩 原 舞	厚 東 晃 央	島 津 幸 枝	河 本 裕 志	川 勝 浩 子	竹 原 幹 俊	日 下 俊 子	小 野 田 光	原 野 健 一	平 原 順 二	木 下 公 文	室 崎 陸 海	廣 田 均	小 谷 和 志	石 原 芳 高	岩 田 恵 一			
議案第52号	令和6年度瀬戸内市一般会計補正予算（第1号）に対する修正案について	R6. 6. 28	否 決	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	欠	●	●	●	●	8	9
	令和6年度瀬戸内市一般会計補正予算（第1号）	R6. 6. 28	原案可決	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	●	欠	○	○	○	○	○	9	8

行政 NEWS とっぴん

vol
45

本格的な夏がやって来ましたが、皆さまにはお変わりございませんか。

辺りを見渡すと、田んぼがまるで緑のじゅうたんを敷き詰めたように、輝いています。私はこの景色が大好きです。こんなステキなところに暮らしていることを、本当に自慢に思います。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

皆さまに市政の場へと送り出していただき、11年が過ぎました。その間常に、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

今回の一般質問は

1. ゆめトピア長船について
 2. 吉井川下流の治水計画について
- 質問しました。



田植えが終わった美しい田園風景（磯上）

とっぴん's コラム

今年も、油杉子ども会で、七夕会をしました。

地域に子どもの声が響き、七夕飾りがたなびく様子は、本当に微笑ましいうれしい光景です。

子どもたちの願いは本当に可愛らしく、笑みがとまりません。地域には、昔ながらの数々の習わしがあります。もうすぐ 8 月 6 日には『大小屋（おおごや）』といって迎え火をします。

『ほ～とけさま、これみて、いらっしゃれ』とみんなで歌って、わらの山に火をつけてお迎えします。

15日には、『万灯（まんとう）』といって送り火をします。

『ほ～とけさま、これみて、いなっしゃれ』とみんなで歌って、竹に火を灯して、お送りします。こんなことが普通に繋いで行ける地域が、私は大好きです。大切にしたい伝統です。



令和 6 年 7 月 29 日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273

瀬戸内市長船町磯上 569

TEL/FAX 0869-26-6420

携帯 TEL 090-5702-8336

ホームページ

<http://www.kusaka-toshiko.jp/>



